

令和3年度 北海道星置養護学校ほしみ高等学園



～ 学校概要と教育課程～

内 容

1. ほしみ高等学園の概要

- ・ 星置養護学校の歩み
- ・ 生徒の状況
- ・ 進路について
- ・ 通学状況について
- ・ 制服について

2. ほしみ高等学園の教育課程

- ・ 教育目標、運営の方針
- ・ 教育課程の全体構造、授業時数、時間割
- ・ コース制について
- ・ 進路指導について
- ・ 教育相談について

1. ほしみ高等学園の概要



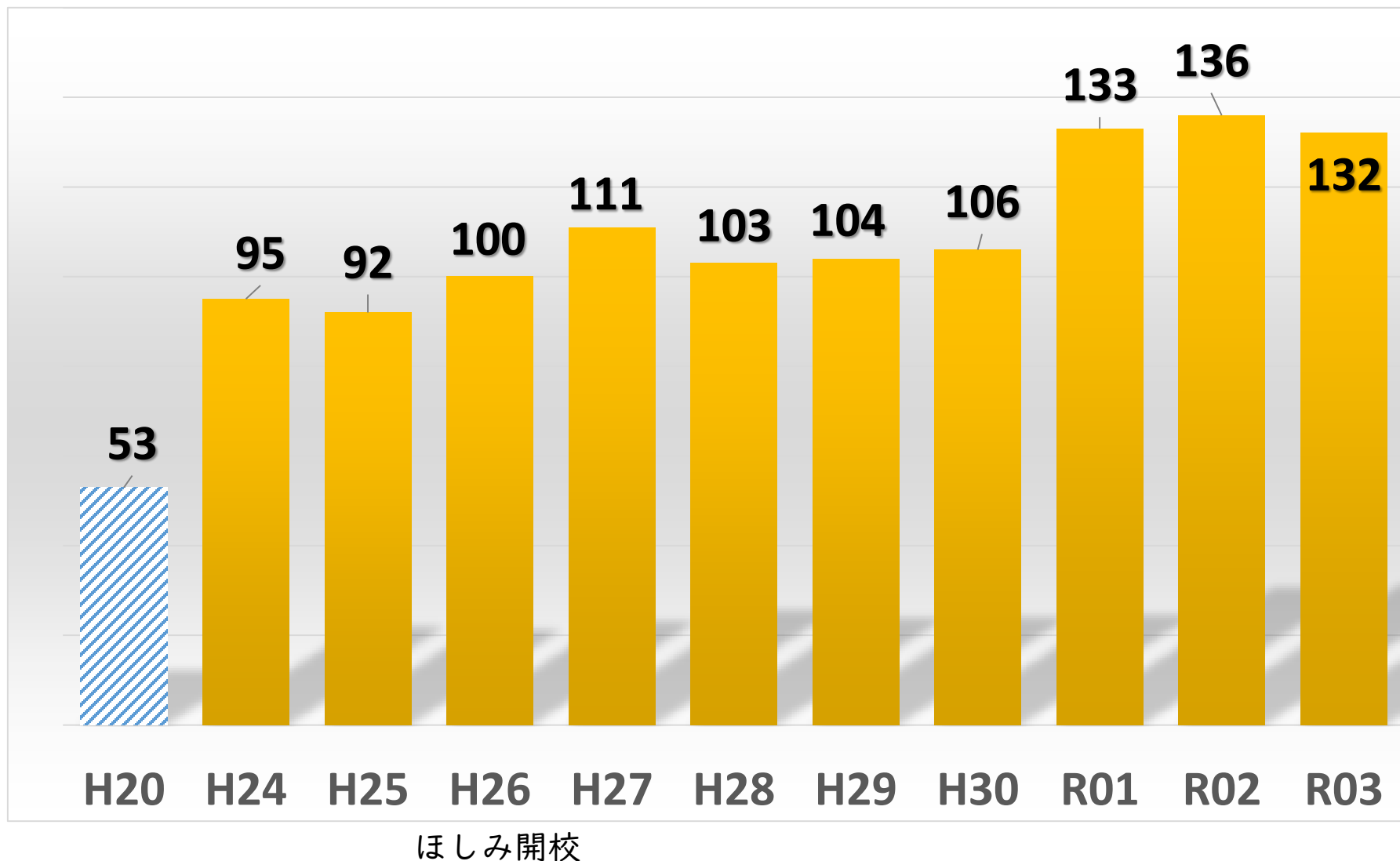
北海道星置養護学校の歩み

- 昭和 5 4 年 北海道星置養護学校開校
(小・中学部)
- 平成 1 0 年 高等部開設
- 平成 2 3 年 石狩紅葉山校舎開設
(小・中学部 分教室)
- 平成 2 6 年 ほしみ高等学園開校
(高等部移設 分校)

※旧札幌稲西高校校舎跡活用
→ コース制の導入

生徒の状況Ⅰ（訪問教育を含む）

過去10年間の高等部在籍生徒数の推移



生徒の状況 2（在校教育のみ）

過去5年間の入学者数と出身校・障害の状況

年度	入学者数	出身校		療育手帳判定		
		星置 中学部	他校特別支援 学校・学級 (全体の割合)	A	B	B- (札幌市のみ)
R03	35名	21名	14名 (40%)	23名	9名	3名
R02	34名	17名	17名 (50%)	15名	13名	6名
R01	47名	21名	26名 (55%)	29名	12名	6名
H30	38名	16名	22名 (58%)	23名	10名	5名
H29	33名	16名	17名 (52%)	23名	8名	2名

生徒の状況 3

出身地域 （令和 3 年度 在校教育）

出身地域		1 学年	2 学年	3 学年	合計
札幌市	手稲区	1 1	6	1 1	2 8
	北区	1 1	8	7	2 6
	西区	1 0	1 2	1 3	3 5
	中央区	0	1	3	4
	東区	0	3	3	6
	白石区	0	1	2	3
石狩市		2	1	4	7
小樽市		1	0	3	4
その他		0	1	1	2
合 計		3 5	3 3	4 7	1 1 5

生徒の状況 4

学級編制と生徒数（令和3年度 在校教育）

	1 学年				2 学年				3 学年				合計
学級数	普通学級		重複学級		普通学級		重複学級		普通学級		重複学級		21
	4		3		4		2		6		2		
生徒数	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	115
	16	10	6	3	19	9	3	2	33	10	1	3	
	35				33				47				

生徒の状況 5

訪問教育学級

★生徒について

- ・今年度は１７名が在籍しています。
内１４名が大倉山学院、緑ヶ丘療育園に入所しています。

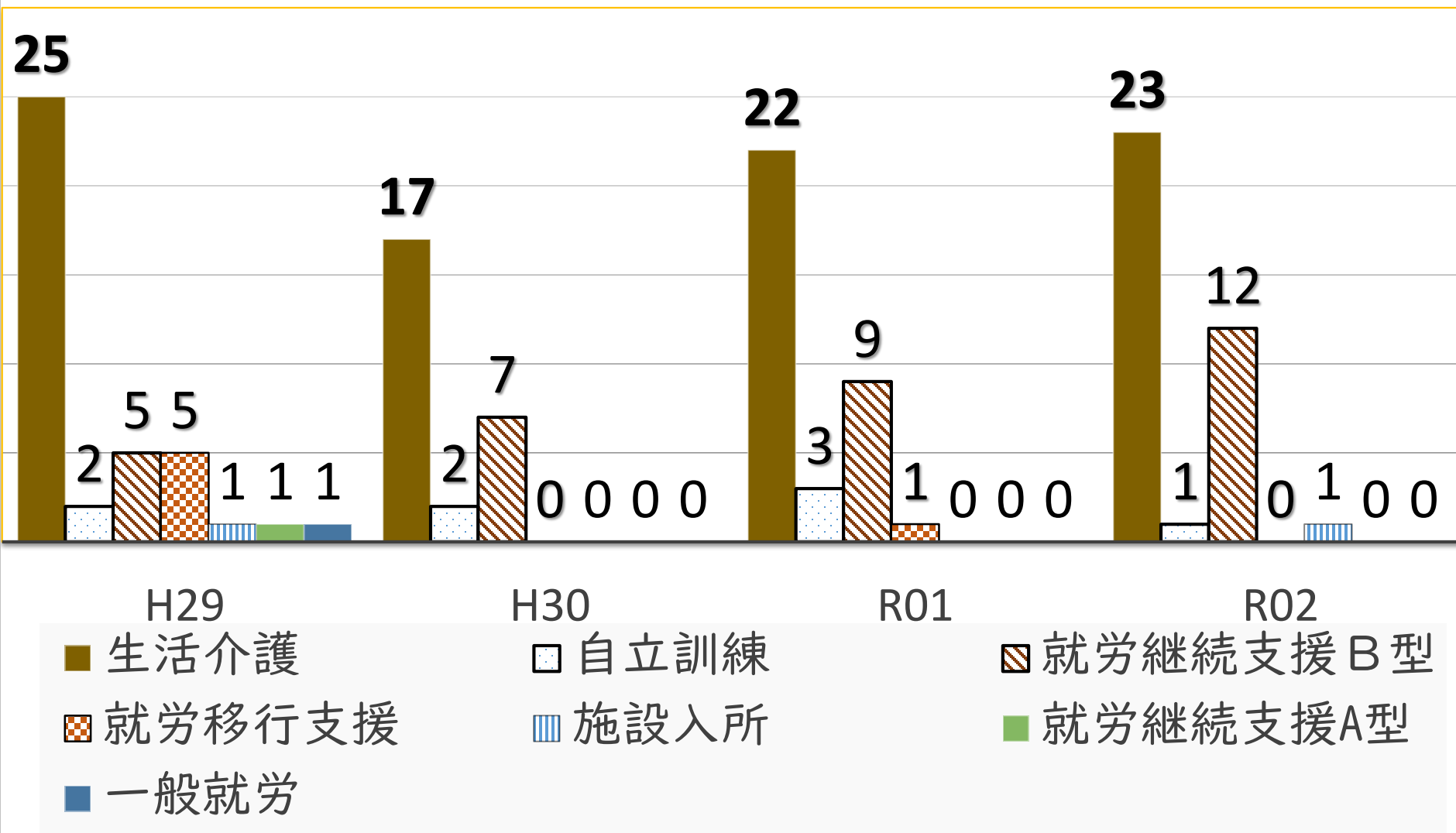
★指導について

- ・週に３回、１回２時間の訪問指導。
- ・ベットサイドや施設内の訪問教室で**自立活動**を中心に指導。
- ・２名の教師で指導する**複数指導**を週１回程度実施。

進路について！

※2カ所以上、併用している卒業生もいます。

過去4年の卒業生の進路状況（在校教育卒業時）



進路について 2

令和2年度卒業生（在校教育）の進路先

生活介護 23名

- ・ぐれいす ・大地 ・アトリエ87 ・北愛館 ・ホップ
- ・あいのさとワークセンター ・まるちゃん
- ・あかしあ学園 ・発寒中央サポートセンターりんくす ・山麓郷
- ・サムリブ高岡 ・生き生きワークセンター（従） ・でんぐり富丘
- ・ジャンプレッツ ・あっぷ ・この実サポートステーションすてっぷ

就労継続支援B型 12名

- ・クローバー手稲 ・ぶらすハート28 ・工房はまなす ・ひいらぎ
- ・オフィスサプライ ・コムズファーム ・福の木 ・ボアソルチ
- ・あいのさとワークセンター ・工房ぶら里 ・ぴあ月寒

自立訓練 1名

- ・あずあいむ

施設入所 1名

- ・南成園

※複数の卒業生が利用している事業所もあります。

※併用している卒業生もいます。

通学状況について！



- 北海道星置養護学校（小・中学部）の通学区域にスクールバスが運行しています。

→ 札幌市北区、西区、手稲区、石狩市（浜益区を除く）

- ほしみ高等学園では、今年度5台のスクールバスを運行

Aコース 二十四軒、山の手、西野、宮の沢、富丘、稲穂

Bコース 八軒、新川、新琴似、新川西

Cコース 新琴似、発寒、前田、星置養護

Dコース 緑苑台、花川北、前田、星置駅

Eコース 拓北、篠路、屯田

※スクールバス停までは保護者の送迎が基本となり、自主通学は許可制となります。

- 学校まで保護者送迎

- 星置校舎にある寄宿舎は利用できません。

制服について



制服（指定）
32, 000円程度



ジャージ（指定）
11, 000円程度

2. ほしみ高等学園の教育課程



「ほしみ高等学園（在校）」

1 教育目標

- ・小・中学部、中学校で培った力の定着及び拡大を図り、生徒一人一人が卒業後、主体的で豊かな社会生活を送るために必要な**実際の・実用的な力**や態度、習慣を育成する。

→5つの力

（判断する力、主体的に関わる力、暮らす力、働くために必要な力、行動するための力や伝える力）

2 運営の方針

- ・ほしみ高等学園における協働、協力体制（チームほしみ）を基礎（ベース）に家庭、関係機関、地域等との相互理解による連携を図り、中学部、中学校からの学び（学び方や教育課程）と将来の生活との連続性を踏まえながら（学びをつなぐ、つなげる）、個別の教育的ニーズに応じた教育を推進する。

「ほしみ高等学園（訪問）」

1 教育目標

- ・生徒一人一人が楽しく、生き生きと学習活動に取り組み、豊かな生活を過ごすことができる。
→ 2つの具体目標（健康の保持、意欲の向上）

2 運営の方針

- ・生徒のありのままを受容し、発信を受け止めて気持ちを込めて応えていく。
- ・互いの気持ちを伝え合いながら、一人一人が求めていることや可能性を探っていく。

教育課程の全体構造



※作業学習 ～1学年 / ライフデザインコース

※職業 ～ワークデザインコース

※特別の教科道徳は教育活動全体を通じて指導を行う。

※自立活動は教育活動全体を通じて指導する。2・3学年においては、生徒の実態に応じて集団での指導場面を設け、時間における指導として設定する。

※訪問教育学級の指導の形態は、日常生活の指導、音楽、美術のほかは個別に対応する。

指導の形態別年間授業時数

指導の形態		学年	1	2	3
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導		297.5	297.5	297.5
	生活単元学習		70	70 (ワーク) 140 (ライフ)	70 (ワーク) 140 (ライフ)
	作業学習		210	140 (ライフ)	140 (ライフ)
	課題学習		70	70	70
	体力トレーニング		105	105	105
	小 計 (a)		752.5	542.5 (ワーク) 752.5 (ライフ)	542.5 (ワーク) 752.5 (ライフ)
教科別・領域別の指導	教科別の指導	国 語			
		社 会			
		数 学			
		理 科			
		音 楽	70	70	70
		美 術	70	70	70
		保健体育	70	70	70
		職 業		210 (ワーク)	210 (ワーク)
		家 庭			
		外 国 語			
	小計 (b)		210	420 (ワーク) 210 (ライフ)	420 (ワーク) 210 (ライフ)
	領域別の指導	特別活動	112	112	112
		自立活動			
		小計 (c)	112	112	112
特別の教科 道徳 (d)					
総合的な探究の時間 (e)		35	35	35	
合 計 (a + b + c + d + e)		1109.5	1109.5	1109.5	

令和3年度「時間割」

	月			火			水			木			金		
	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
1 8:55～9:30 0.5/0.2	日常生活の指導(25分)/SHR(10分) 各教室														
2 9:30～10:00 0.6	1学年:体力トレーニング 2・3学年:体力トレーニング・自立活動 体育館・グラウンド等														
10:00～10:05	休憩(着替え・トイレ・移動 等)														
3 10:05～10:55 1	美術	W:職 業 L:作業学習	作業学習	生活単元 学習	生活単元 学習	生活単元 学習	W:職 業 L:表現活動	作業学習	生活単元 学習	生活単元 学習	生活単元 学習	生活単元 学習	W:職 業 L:作業学習		
10:55～11:00	休憩(トイレ・移動 等)														
4 11:00～11:50 1	美術	W:職 業 L:作業学習	作業学習	課題学習	課題学習	課題学習	W:職 業 L:表現活動	作業学習	課題学習	課題学習	課題学習	課題学習	W:職 業 L:作業学習		
11:50～12:00	休憩(着替え・トイレ・移動 等)														
12:00～12:50	日常生活の指導(給食の準備、給食、給食の片付け等)														
12:50～13:00	休憩(着替え・トイレ・移動 等)														
5 13:00～13:50 1	作業 学習	音 楽	保 健 体 育	保 健 体 育	美 術	音 楽	総合的な探究の時間 (サークル活動)	LHR	LHR	LHR	音 楽	保 健 体 育	美 術		
6 13:50～14:40 1							日常生活の指導(10分)/SHR(15分) 各教室								
7 14:40～15:00 0.2/0.2							日常生活の指導(10分)/SHR(10分) 各教室							下校14:15 水曜/作業学習と表現活動はコース別に学習する。 なお、コース制は2年生からとなり、3年生でのコース変更は行わない。(グループ 変更は可能)	

※基本の時間割であり、行事や単元の構成により柔軟に対応する。(終日作業及び終日の生活単元学習を取り入れるなど、生徒の実態やねらいに応じて工夫する。)

※サークル活動は、当面の間、学年ごとに水曜日5校時、木曜日の5校時の2週に1回設定する。

※2・3学年の体カトレーニング・自立活動は、体カトレーニングをベースとし、教育活動全体で指導する自立活動の中で本校の生徒の課題として多い「コミュニケーション」「人間関係の形成」という自立活動の内容の指導を充実させるために自立活動を位置付けている。

※W:ワークデザインコース L:ライフデザインコース

ほしみ高等学園の特徴

1. 生徒数が多い→義務併設高等部（在校）では全道一
2. 校舎が大きく、教室が広い→旧稲西高校校舎を活用
3. 独立した校舎で普通科の高等部→職業科ではない



この特徴を生かして

コース制

ほしみ高等学園では大きく3つの教育課程を編成（訪問教育部を含む）
教育的ニーズに合わせてたくさんのグループを作ることが可能

主体的で豊かな社会生活を送るために必要な

実際の・
実用的な力

WORK
DESIGN
COURSE

LIFE
DESIGN
COURSE

働く
力

自己表現

働くことを中心
とした体験的な
学習に重点を置
いた教育課程

2・3学年
コース制

自己表現を中心
とした体験的な
学習に重点を置
いた教育課程

1 学年 共通の教育課程

WORK DESIGN COURSE

LIFE DESIGN COURSE

- コースの選択は、本人・保護者の希望を重視
- 2つのコースの関係は、横並びの対等なもの
- どちらのコースにも多様な実態の生徒がいる



より効果的な指導を目指して、各コースに「グループ」を配置する。個々の目標、支援度、支援内容等を考慮し、学校側が主導でグループ分けを考える。

*各グループの適当な指導者数の配置や作業種、指導内容の検討

コース別の学習は、縦割り（2，3年生合同）

メリット

- ・ 生徒同士が助け合い、教え合うことができます。

3年生は

- ・ 「2年生に教えるという責任感」が育ちます！！

2年生は

- ・ 「先輩がいるから教えてもらえる。」「先輩みたいになりたいな。」という安心感や意欲につながります！！

つまり

- ・ 協調性を育み、豊かな人間関係の形成。
- ・ 自立を促す一つ！！

WORK 「職業」 （作業活動の他にも）

「働く姿を知ろう」

職業・進路先の理解

職業観の育成

進路設計



「働くために」

働くために必要な力とは

健康管理

日常生活管理

対人関係のスキル

ビジネスマナー

LIFE 「表現活動」 (一例)

美術的表現活動

モダンテクニックの技法を使用した作品制作

アクリル絵の具オブジェ制作

コラグラフ作品制作

共同制作

⇒コンクール出品・作品展の開催・作品の販売

音楽的・体育的表現活動

和太鼓

よさこい

表現ダンス (HIPHOP)

進路指導について（基本形）

直接的、体験的な活動を重視した学習活動

現場実習

	期 間	目 的
1 学年	5 日間 (1 週間)	●将来の福祉就労や社会参加に向けて、事業所や施設等で実際に作業や生活を体験する。 ●学校と異なった生活環境で集団生活をするこ とをとおして、人との関わりや経験領域を広 げる。 ●作業をはじめ、これまでの学習の成果および 今後の指導課題を確かめる。 ●事業所や施設等での実習を通して進路選択に ついて保護者が直接的、具体的情報を得る機 会とする。
2 学年	5 日間 (1 週間)	
3 学年	1 0 日間 (2 週間)	

※基本的には単独実習とし、3年次は卒業後に利用する場合と同様の形態（自宅からの通所、入所など）で実施します。

教育相談について

ほしみ高等学園では、本校への進学を視野に入れている方の教育相談を「**中学2年生**」でお受けしております。

本校に興味を持たれましたら、中学校を通じて、まずは電話にてお問い合わせください。

北海道星置養護学校ほしみ高等学園 担当：野村
〒006-0860

札幌市手稲山口740番地1

TEL 011-681-6500

FAX 011-681-6511

HP <http://www.hoshimi.hokkaido-c.ed.jp/>